

二宮町議会選挙 11/18投開票

現場から政策提案 していきます

当選 一石 ひろ子
得票数 620票 (13位)



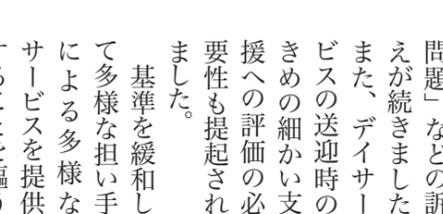
衆議院第2議員会館で開催された、介護の日フォーラム実行委員会による「介護保険サービス、必要な時に必要な人へ」と題した院内集会に参加しました。介護報酬や総合事業について、また、訪問介護の生活援助や小規模デイサービスの重要性、さらには居宅介護支援事業における資格要件などについて、老健局、財務局の職員に現場の課題を訴



えました。参加者からは、「処遇改善は加算方式ではなく基本報酬を



総合事業についての懸念も出されました。老健局の職員は「介護保険の持続可能性の観点から展



「生活援助の評価が低いことは問題」などの訴えが続きました。また、デイサービスの送迎時のきめの細かい支援への評価の必要性も提起されました。基準を緩和して多様な担い手による多様なサービスを提供することを謳う



◆介護の日フォーラム実行委員会 在宅で暮らし続けるために 生活を支えるサービスへの評価を！

加藤よう子(座間市民ネット)

11/8

引き上げることが必要」、「今回の制度改定で生活支援(訪問介護)の報酬を下げ、利用回数制限も設けられたが、生活援助が利用者の生活を支えており、身体介護とは切り離せない」、「生活援助の評価が低いことは問題」などの訴えが続きました。また、デイサービスの送迎時のきめの細かい支援への評価の必要性も提起されました。基準を緩和して多様な担い手による多様なサービスを提供することを謳う

開している。「訪問・通所の多様なサービスを行う事業所は昨年度1万カ所を超えた」と説明しました。しかし、その担い手の6〜7割が介護事業所です。報酬は予防給付(従前相当)よりも1〜3割ほど低いため、総合事業に算入する事業所は増えるとは考えられません。基準緩和の事業を受けることで、資格者が低い報酬で担わざるを得ない状況も生じています。総合事業の持続可能性は大変低いものといえます。今後福祉現場と連携して介護労働を適正に評価し介護の担い手を広げるために声をあげていきます。

円卓会議でわかったこと —市民の声が社会を変える

竹中麻美(ネット・いずみ準備会)

11/14



生活クラブ神奈川と神奈川ネットが参加して県との円卓会議が持たれました。テーマは2つ。私たちが関心を寄せる農政、とりわけ種子法廃止に関わることと都市農業。もう一つは、エネルギー推進政策についてです。

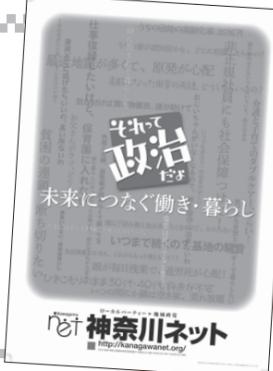
2011年の東日本大震災による福島第一原発事故をきっかけに、脱原発を進めるための政策として、私たちは省エネ・節電の取り組みを提案してきました。事業所(自治体などを含む)の業務用・産業用の電気が、電力使用量の約7割を占めていることから、事業所での節電

が有効と考えました。2012年に、県に対して、庁舎や関連施設・公共施設の照明設備をリース方式によるLED照明へ交換することを提案。初期費用をかけるに二斉導入することによる「節電と経費削減」の効果をあらゆる機会を捉えて提案してきました。その当時は交換用の蛍光灯の在庫もあつて、リース方式の二斉導入は難しいとの見解で、一部施設に限られていました。

しかし、今回の円卓会議では、より積極的にリース方式を導入することがわかりました。今年度、県庁本庁舎から順に、リース方式でLEDの導入が実現します。地道な提案ですが、県の政策は周辺自治体や民間の事業所への波及することも期待されます。今後も生活クラブ運動グループと協力して、今回のような円卓会議を始め様々な機会を捉えて私たちの声を自治体に届けていきます。

完成しました！

- 神奈川ネットポスター
- 神奈川ネットリーフ
- 2019年統一地方選挙基本政策リーフ



県央地域のうごき

ピースリングツアー開催 基地問題はよそ事ではない

山本智子(厚木市民自治をめぐり会)

11/15



神奈川ネット県央ブロック主催で、県央地域の基地をめぐるピースリングツアーを開催しました。厚木海軍飛行場(厚木基地)に隣接するゆとりの森公園(大和市)では大ぜいの親子連れが遊んでいます。その頭上を飛ぶ飛行機

の近さに、驚きの声があがりました。空母艦載機が岩国に移駐しても、訓練は土日に関係なく続いています。また、ヘリコプターやオスプレイの低周波騒音は長期に渡るストレスとなつていきます。7月に発生した米軍ヘリの窓枠落下事故の他にも事故報告

は頻繁であり、住宅地にある基地への不安は止むことはありません。座間キャンプは一部返還され病院や座間市消防本部・本署が整備されていますが、広大な基地の維持には日本の思いやり予算が充てられています。また、地域を分断する相模原住宅の存在は、生活の不便さを際立たせています。相模原総合捕給廠は西側の35ヘクタールが返還されたものの自治体が直ちに使用することが許されていないため、更地のままです。また相模原総合捕給廠の横を流れる境川で、劇毒物のトリクロロエチレンやカドミウム汚染が発覚しました。ベトナム戦争で使用された車両のメンテナンスが原因であったことが監視団の調査によって明らかになっています。

定期的なチェックを重ね、多く市民が現状を知ることの積み重ねが日米地位協定の見直し運動にも繋がります。今後、ピースリングツアーへの参加を広げ、その活動を発信していきます。

神奈川ネットは、地域政党です。生活の課題は政治に直結しています。国の政党が、地方の政治までコントロールするのではなく多様な地域政党が政策を競い住みやすいまちをつくる社会をめざします。



- #### 今月の神奈川ネット
- 市民の生活・活動法律相談：12/19(水)
 - 香害アクションチーム：12/20(木)
 - 第10回運営委員会：12/25(火)
 - 市民社会チャレンジ基金交流会・新春にっとう2019：1/18(金)

編集後記

「改正入管難民法」が可決成立した。その審議時間は衆参法務委員会合計で35時間という拙速さだ。外国人技能実習生の失踪や自殺の実態も正確に把握せず、また、法案の中身も「移民との違い」「増やすべき人数」など議論の余地を残したまま、来年4月の施行ありきの強行採決だ。日本語教育や相談体制の整備といった対策もすべて先送りして、来年の参議院選を前に、産業界の期待に応えたいというのが政府の本音か。日本社会にとつては国の形を変える大きな分岐点だ。反対する人も多い中、国民の理解も得られるままの法改正は禍根を残す。(C・M)